



為して 学ぶ

校長 山下 靖雄

先日の学校公開は、4年ぶりに制限なしの実施となり多数の保護者、地域の皆様にご来校いただきました。子供たちの頑張る姿に励ましのお声掛けをいただきました。改めて御礼申し上げます。これからも多数の皆様のご参観をお待ちしております。

さて、季節は夏を迎え、プールを活用しての水泳学習も始まりました。今年度からプールカードを廃止し、見学の連絡はtetoruにてお願いをしております。皆様のご理解に感謝申し上げます。6月19日(月)から始まった水泳学習も天候状況に恵まれ、順調に進んでおります。先日の全校朝会では私から問題を出しました。「一番浮きやすいのはどんな姿勢でしょうか?」という問題に対して、予想をしながら実際にプールで体を使って確かめるという狙いです。答えをすすんで校長室に報告に来てくださいと声をかけたところたくさんの子供たちが「校長先生、〇〇が一番浮きやすいです。」と答えてくれています。私が「どうしてだと思う?」と問うと、「プールの下を見ているときの方が浮きやすいから。」と明確な答えが返ってきます。実際に浮力が一番働くのは、体を丸めて視線をおへその方に向けたときです。このことを子供たちは実体験をもとに発見していきました。タブレットを使ってインターネットを通して解答を見つけ出すことは容易です。しかし、それでは本当の知識にはなりません。私は本当に生きた知識というものは体験や経験を通して確かめられたものだと思っています。正に「為して学ぶ」ことが子供たちの生活では大切なことではないでしょうか。ちなみに浮きやすい姿勢のベスト4は、以下の通りでした。

1位 だるま浮き 2位 くらげ浮き 3位 大の字浮き 4位 伏し浮きまたはけのびの姿勢

さて、問題はまだまだ続きます。3年生以上になると「浮いて進む」と運動のポイントが学習における運動課題となります。そこで、子供たちに「だるま浮きは進みやすいですか?」と問うと、「いいえ」という答えが返ってきます。「では、浮きやすくしてさらに進みやすいのは何だろうね?」と問います。ここからがいよいよ大事な学習の始まりとなります。

また、今月オープンした「船堀小ガーデン」は子供たちの様々な学びの場になりつつあります。草花を育てるということはしっかり手をかけ、目をかけていくことです。植えたらおしまいではありません。子供たちに全校朝会で「命を大切に。草花にも一つの命があります。大事に育てていきましょう。」と話したところ、今ではすすんでたくさんの子が維持管理にかかわってくれています。そして、その中でも熱心に活動をする子は「雑草の抜き方はね…。」「水をあげるときには花にはかからないようにね。」などと互いにアドバイスをしながら楽しそうに活動しています。これも「為して学ぶ」ことの効果の表れだと感じています。草花の成長とともに子供たちのボランティアマインドを始めとする心が大きく育ってほしいと願っています。なお、来月早々に地域ボランティアの方の募集も開始します。時間のある時に誰でもかかわっていただけるような組織にしていきたいと思っています。ぜひお力添えいただきますようお願い申し上げます。お子さんと一緒にかかわるのも楽しいものだと思います。

